



金沢市 (公共レンタサイクル「まちのり」)

- 民間事業者(株)日本海コンサルタントが運営、市は機器類の無償貸与と運営負担金の支出
- クレジットカードを使用し、初めてでもポートにて数分で簡単に登録可能
- ホテル等の提携窓口、まちのりサポーターなど、市民や民間企業との協働で実施

【実施概要】

実施期間	期間	平成24年3月24日(土)開始
	運営時間	貸出 7:30~22:30 返却 24時間可
施設規模	自転車台数	155台
	ポート数	21箇所+事務局
料金体系	1日基本料金	200円
	1月基本料金	1,000円
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカード等 返却:ラックに返却
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード又はパスワード
機器	料金收受	無人:クレジットカード 有人:現金
	自転車車両	・小径車、新車 ・20インチ、内装3段変速 ・自動ライト点灯、前カゴ
ラック	その他	個別電磁ロック式
	その他	路上端末機 (利用手続、利用履歴確認、 精算書発行、ポート満空等) ※タッチパネル・音声は5か国語対応

担当:金沢市歩ける環境推進課 今井
連絡先:076-220-2371
運営事業者:(株)日本海コンサルタント 片岸、井上

【目的等】

- (目的)・来街者の2次交通の充実
・市民の足としての都市内交通の充実
(背景)・平成22年8月~10月:社会実験を実施
・平成27年3月14日:北陸新幹線開業

【利用実績】

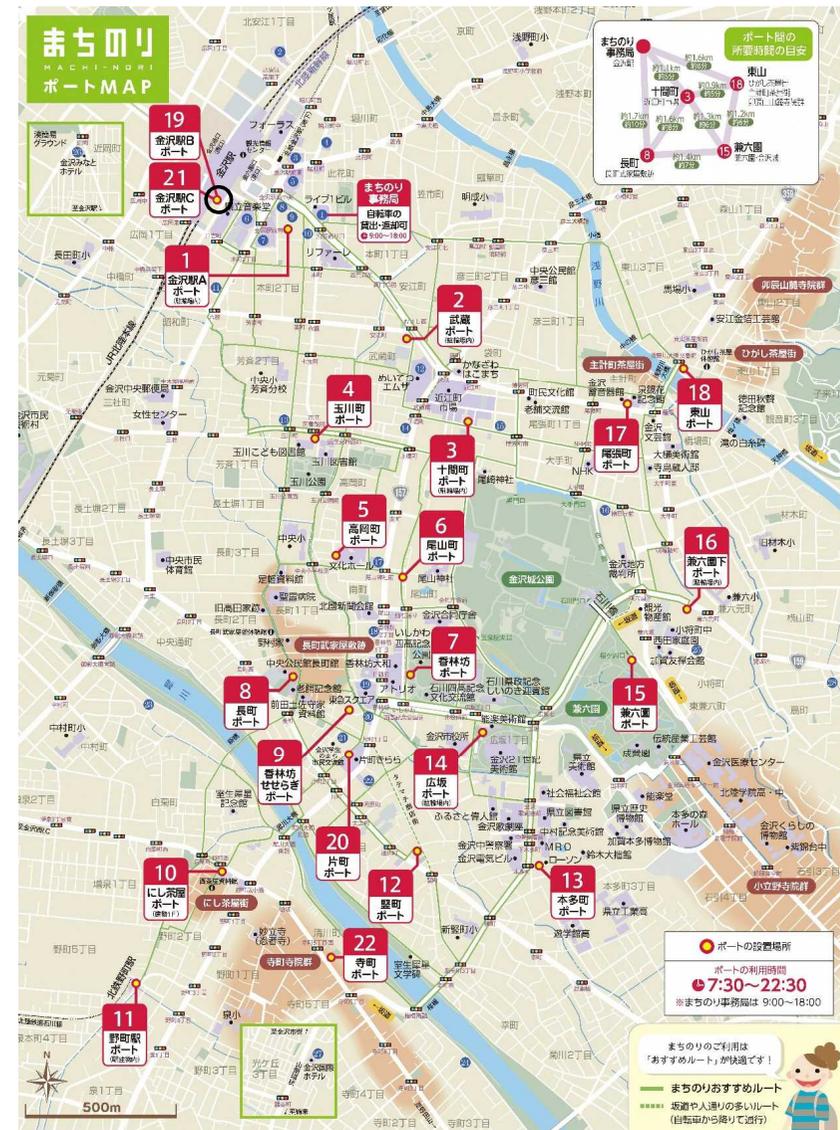
購入者数	239,823人・件	H24.3.24~H30.2.28 (2168日間)
延べ利用回数	1日利用者:	235,316人
	1月利用者:	3,883人
	1年利用者:	251人
	法人会員:	373件
1日平均利用回数	900,017回	
回転率	415回/日	
平均利用時間	2.68回/台・日	
★平成29年度	1日平均利用回数	479回/日
	回転率	3.09回/台・日

【平成29年度の主な実施事項】

- まちのりサポーター委嘱(H29.4.14)
- 金沢市公衆無線LAN基地の提供開始(H29.7.14)
- カーフリーデー2017 in 金沢へ出展協力(H29.9.23)
- まちのりハッピーハロウィン(H29.9.27-10.20)
- 金沢まちなかサイクリングツアー(H29.10.7)

▼ハロウィン仕様の自転車

▼金沢まちなかサイクリングツアー



【月別利用回数の推移】(H24.4~H30.2)



栄ミナミエリアマネジメント社会実験協議会 (名古屋市) (愛称) でらチャリ

- 都市再生推進法人を目指すまちづくり会社（栄ミナミまちづくり株）による自主事業として、市と連携しながら社会実験を開始（H30年2月22日 都市再生推進法人の指定）
- 自転車の鍵を管理し、駐車ラックや自転車への機器の搭載を必要としない、日本発のシンプルシステム
- まちづくり会社が歩道に設置した7基のデジタルサイネージと連携、まち情報とともにPRを実施

【実施概要】

実施期間	期間	H28年10月1日～H30年3月31日
	運営時間	貸出9時～20時、返却24時間
施設規模	自転車台数	23台
	ポート数	3箇所
料金体系	登録料	0円
	会員種別	時間会員(60分間) 1日会員(9時～20時)
	基本料金	100円/60分 500円/日
	超過料金	100円/60分 500円/日
初期登録	登録方法	KIOSK(タッチパネル)、専用Web
	登録場所	KIOSK(タッチパネル)3箇所 専用Webサイト
管理	管理方法	・管理者用Webサイトによる遠隔管理 ・巡回スタッフによる再配置・清掃
	貸出・返却の管理	・貸出 KIOSKで、ICカード認証、自転車用の鍵の取出し ・返却 KIOSKで、自転車の鍵のICスティックを認証、返却
	集中管理	クラウドサーバーによるWeb管理
	個人認証媒体	・Felicaを内蔵したICカード ・おさいふケイタイ
	料金収受	・交通系電子マネー ・クレジットカード
機器	自転車車両	・軽快車(市販ベースに専用タイヤカバー、バスケットカバーを装着) ・24インチ、内装3段変速
	ラック	・ラックは不要だが、自転車整序のためデザインされたラックを設置
その他	・KIOSK(登録・貸出・返却、支払用端末) ・ステーションの設置箇所(3箇所) 名古屋無料自転車駐車場内(2) エリアマネジメント協力企業敷地(1)	

【目的】

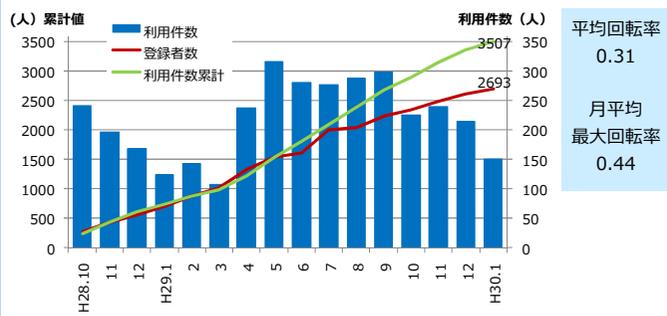
○実施の背景

- ・名古屋市の都心にある栄ミナミエリアでは、地元まちづくり団体が、株式会社を設立し、都市再生推進法人の指定を受け、地元主体のまちづくりを進めている。
- ・主要事業として、①シェアサイクル事業、②有料駐輪場事業、③デジタルサイネージ事業を社会実験として実施している。(2018年4月より本格実施予定)

○想定ターゲット

⇒観光・ショッピング、業務利用、域内通勤者利用等

【利用実績 (H28.10.1～H30.1.31)】



【評価】

- 現在のポート数は、3箇所であり、利用は伸び悩む傾向。
- まちづくり会社の事業として収支健全化を目指し、次年度に3箇所増設予定。
- さらに、まちづくり会社活動区域外の団体等と連携した設置エリアの拡大を検討

担当：名古屋市緑政土木局自転車利用課（小林）
連絡先：052-972-2858
事業実施主体：栄ミナミエリアマネジメント社会実験協議会
運営事業者：篤井株式会社 本社：052-521-9134 東京：03-6435-8760





鹿児島市 コミュニティサイクル「かごりん」

- 事前登録不要で、サイクルポートの端末機で簡単に登録できるシステムを構築
- デジタルサイネージ(電子看板)を付設し、利用促進のPRや観光・行政情報等を放映
- ホテル等におすすめスポットを掲載したマップマガジンを配付し、利用促進
- 電気自動車を再配置車両として使用するなど、低炭素なシステムで運用

【実施概要】

実施期間	期間	平成27年3月1日開始
施設規模	運営時間	24時間
	自転車台数	174台
	ポート数	24箇所

料金体系

料金	登録料	利用料
1日(24時間)会員	200円/日	・会員期間内なら何回利用しても30分以内は無料
1ヵ月(31日)会員	1,000円/月	・30分を超えると30分ごとに100円
法人会員 ※窓口登録のみ	2,000円/月	※一旦、自転車をポートに返すと、また30分は無料です。
時間貸	200円/30分	(クレジットカードのみ精算可)

初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:携帯電話、ICカード 返却:ラック
	集中管理	各ポートから自動でデータ送信
	個人認証媒体	携帯電話番号、ICカード
機器	料金收受	現金、クレジットカード、電子マネー(nanaco、WAON)
	自転車車両	・小径車、新車(パナソニック) ・20インチ、3段変速
	ラック	電磁ロック

【目的】

自家用車等から環境にやさしい自転車プラス公共交通への転換を促進し、温室効果ガス排出量の削減、中心市街地の回遊性向上、観光の振興を図る。(経緯)

- ・H23.24 社会実験を実施
- ・H27.3 本格導入し、運用を開始
- ・H27.8 地元企業からのポート寄贈
- ・H28.2 日産自動車より再配置用EVを無償貸与
- ・H27.28 臨時ポート設置でのニーズ調査実施
- ・H29.10 鹿児島大学によるポート設置(市補助)
- ・H30.1 「西郷どん 大河ドラマ館」へのポート設置

【利用実績 H30年2月末現在】

登録者数	延べ51,884名
延べ利用回数	434,108回
1日平均利用回数	396.1回/日
回転率	2.3回/台・日

【評価】

- 「簡単登録+現金」の手軽さなどから、通勤や観光等に幅広く活用され、予想を上回る利用状況。
- 安全・快適な走行のため、こまめな自転車の保守点検の継続が必要。
- 運営事業者の本業(旅行業)と相乗効果のある取組推進。
- エリア拡大に向けて、29年度からは新たに、民間事業者等によるポート設置に対する補助事業を実施。

担当:鹿児島市環境政策課 木場
連絡先:099-216-1296
運営事業者:株式会社JTB九州

かごりん



サイクルポート



自転車走行ネットワークとの連携



電気自動車を利用した再配置作業



鹿児島大学によるポート設置(市補助)



「西郷どん大河ドラマ館」へのポート設置



吉本興業所属芸人とのコラボ



札幌市 (実施・運営事業者: 認定NPO法人ポロクル)

札幌みんなのサイクルポロクル (porocle)

【2017年度 取り組み概要】

- 札幌駅周辺に新ポートを3カ所設置
- 基本利用時間を30分から60分に拡大
- 英語に加え、中国語(簡体・繁体)、韓国語の案内を開始
- ユーザー参加型フォトコンテスト開催
- 自転車にかかる保険を見直し、最大1億円まで補償される損害賠償保険を付保
- 良好な自転車利用環境創造イベントにて「デンマーク式自転車教室」を企画・運営

【実施概要】

実施期間	期間	4/24(月)~10/31(火) 計191日間 ※事業化7年目
	運営時間	7:30~21:00
施設規模	自転車台数	350台
	ポート数	43箇所
料金体系		
<ul style="list-style-type: none"> ・会員登録手数料324円 ・1回プラン: 108円/60分、1ヵ月プラン: 1,620円/1ヵ月(60分以内なら何度でも利用可)(超過料金: 1回の利用が60分を超えたら108円/30分) ・認証媒体選択: おサイフケータイ・SAPICA・ポロクル発行のカード(540円/1枚) ・観光プラン: 1,080円(1日パス)、540円(15時パス) 		
初期登録	登録方法	PCおよびモバイルWeb仮登録(おサイフケータイはポートにて登録完了可)、ポート・カウンターにて認証媒体登録 ※会員情報・クレジットカード入力
	登録場所	Web/ポート/ポロクルカウンター
管理	管理方法	管理サーバーによる遠隔集中管理 ※データ自動送信
	貸出・返却の管理	セルフサービス(ICカード認証) / サーバーによる自転車管理
	集中管理	自動データ送信
	個人認証媒体	専用ICカード/おサイフケータイ/SAPICA(交通カード)
機器	料金收受	クレジットカード/請求書(法人)
	自転車車両	・オリジナルシティサイクル(南雲勝志氏デザイン、武田産業(株)制作) ・26インチ、3段変速、自動点灯ライト
	ラック	平置き/電磁ロック
	その他	無線通信/ソーラーパネル

【目的】

- 想定したターゲット: 市民・観光客(国内・国外主にアジア圏)
- 実施の目的や背景等: 民間が担う新たな交通サービスとして事業展開するとともに、自転車のルール・マナー啓発など社会貢献活動も実施。環境団体「NPO法人ezorock」と協働し、20代を中心とした若者達が、日々の運営やイベントの企画などを行う。市民や、様々なまちのプレイヤーと信頼関係を築きながら、サイクルシェアリング事業を通じて札幌のまちづくり・人づくり・魅力づくりに貢献する事を目指している。

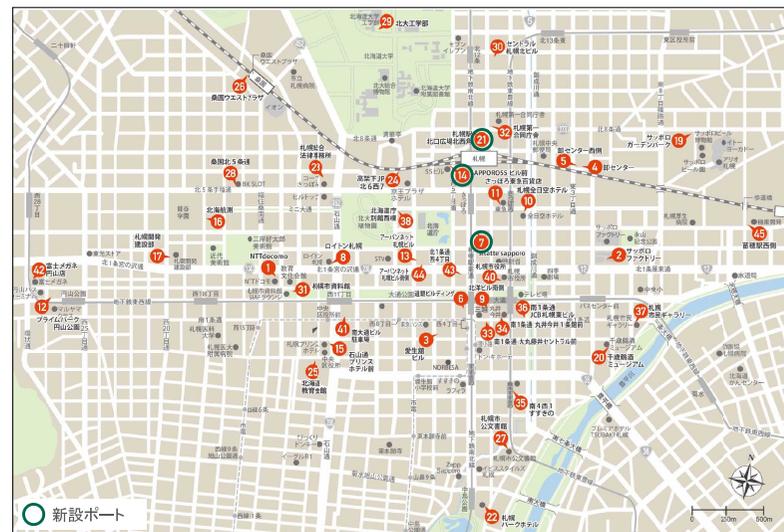
【利用実績】

累計登録・利用者数	登録数: 一般 11,922 件、法人 744 件、利用数: 観光 13,115 件
延べ利用回数	699,660回
1日平均利用回数	514回/日(最大870回/日)
回転率	1.8 回/台・日(最大3.0回/台)
平均利用時間	32 分/回(平日29分・休日49分)

【評価】

- 公共交通との組み合わせに便利な札幌駅周辺にポートを3カ所設置(7月1日OPEN)した事や、利用時間の拡大により、利用回数は昨年度85,763回から今年度98,222回と1.14倍、新規登録者数は昨年度841件から1,292件と1.53倍となった。
- 英語対応に加え、中国語(簡体・繁体)・韓国語での案内を開始、HPやご利用ガイドを多言語化した事により、観光バスの販売数が昨年の1.76倍となった。国外の利用ランキングは韓国が1位で33%、続いて台湾11%、香港9%となった。
- 「デンマーク式自転車教室」はゲームを通して自転車の乗り方を楽しく学んでもらう事を目的として実施し、約120名の子供たちが参加した。

担当: 熊谷 連絡先: 011-896-5601
実施・運営事業者: 認定NPO法人 ポロクル



【ポートMAP】



【新ポート①札幌駅西口sapporo55ビル前】



【ベトナムの高校生海外研修プログラム】



【運営中のスタッフによるルール・マナー啓発活動】



【デンマーク式子供自転車教室】



- 日本で最初のコミュニティサイクル本格実施
- 屋外広告を活用して収支を健全化、富山市には運営費用の負担無し
- 市政情報パネルを設置(歩道側:地図or市政情報、車道側:広告)
- 全20箇所のポートはほぼ全て道路上に設置(3箇所公園内、1箇所市有地)

【実施概要】

実施期間	期間	2010年3月20日～ 2,841日(2017年12月末時点)
	運営時間	24時間365日
施設規模	自転車台数	200台
	ポート数	20箇所
料金体系	登録料: 無料 基本料: 定期バス500円/月 パスカ 700円/月 メンバーカード	
		7日バス1,000円 2日バス500円 1日バス300円 利用料: 最初の30分無料 次の30分200円 以降30分毎に500円
初期登録	登録方法	必要情報記入後、会員カード及びID番号を発行
	登録場所	Web、郵送、提携ホテル・駐車場窓口
管理	管理方法	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	貸出・返却の管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	集中管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	個人認証媒体	ICカード、ID番号
機器	料金収受	クレジットカード、口座振替、現金
	自転車車両	・自社設計開発、専用自転車 ・26インチ、3段変速、前後LEDライト、鍵付き
	ラック	埋設基礎式、カードリーダー組込
	その他	ターミナル

【目的】

- 想定したターゲット
市内中心部に来訪する全ての方が対象。
- 実施の目的や背景
富山市は環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが大きな焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出量の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としています。

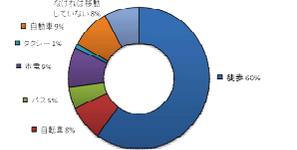
【利用実績】2017年12月末時点

登録者数	14,002名
延べ利用回数	422,300回
2017年 1日平均利用回数	195回/日(通年) 228回/日(3月～11月)
回転率	0.97回/台・日 1.14回/台・日(3月～11月)
平均利用時間	約10分/回

【評価】

- 利用回数(2017年): 70,997回
- ・自動車(タクシー含む)からの転換が10% (CO2排出削減に貢献)
- ・概ね80%の利用者がサービスに満足
 - －ステーションの増設(2018年3月 3ヶ所増設予定)
 - －ステーション・パネルへの防犯カメラ導入
- 今後の課題、展開予定等
 - －サービス品質の維持
 - －北陸新幹線開通により増加傾向にある観光客需要の取り込み

担当 : 富山市環境政策課
連絡先: 076 443 2051
運営事業者: シクロシティ株式会社
連絡先: 03 5217 2510



「(シクロシティを利用する)以前までの移動手段は?」(N=308)

ステーション及びパネルの増設予定(2018年3月末完了予定)

民俗民芸村、呉羽丘陵多目的広場、富山大学構内ステーションの3箇所が増設され、23ステーションへ。人気観光エリアへのアクセスがより便利に。



新設パネルには防犯カメラを設置。サービスの安全及び地域の防犯に貢献。

what's
シェアサイクル?



鉄道・地下鉄



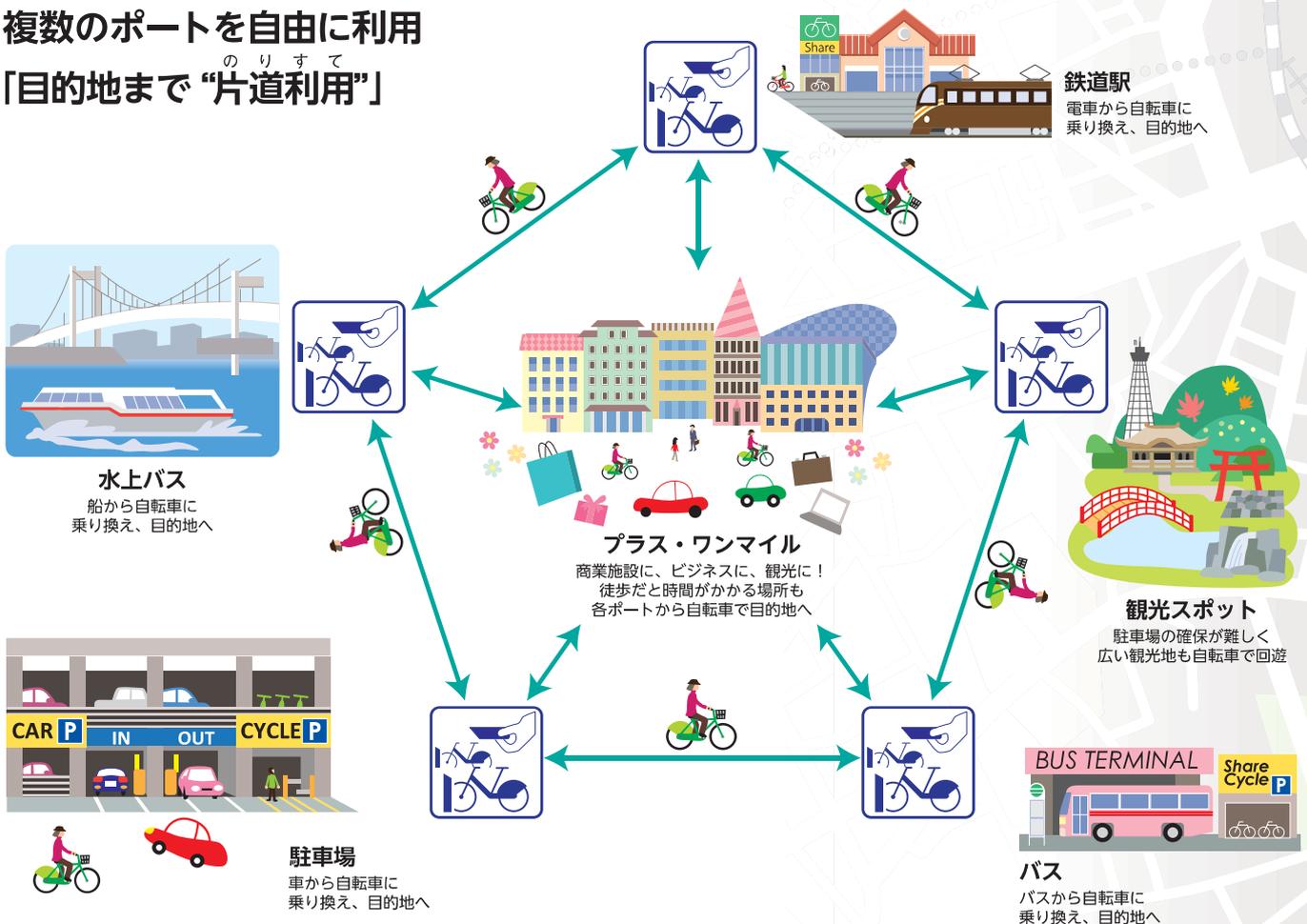
バス・タクシー・マイカー



「新たな公共交通」= 自転車を用いた
シェアサイクル

これまでの公共交通と目的地との間
プラス
= “+1マイル” を担う交通手段に

複数のポートを自由に利用
のりすて
「目的地まで“片道利用”」



シェアサイクルが持つ“メリット”

まちの活性化

ポート間を面的に、多方向に移動が可能のため、まちの回遊性向上が期待できる

環境

公共交通機関の中で唯一、化石燃料に由来しない動力源をもつ移動手段として、温暖化防止(CO₂削減)に貢献する。渋滞緩和等も期待できる

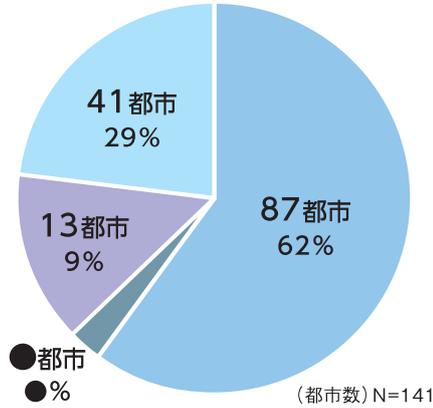
健康

自転車に乗ることはそのまま健康増進につながり、社会保障費の抑制効果も期待できる

全国各地に普及拡大 87都市で展開中

コミュニティサイクル実施状況

※H28年10月1日時点
 ※アンケート回答自治体のうち、本格導入を図示
 ※民設民営の取組については、回答があった自治体名称を記載



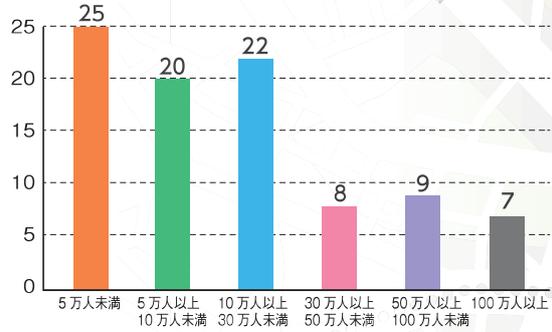
- 平成28年度にコミュニティサイクルを本格導入している (H28.10.1時点で実施)
- 平成28年度にコミュニティサイクルの本格導入を予定 (H27.11.2以降に導入または導入を予定)
- 平成28年度にコミュニティサイクルの社会実験を実施した (または実施中)
- 平成29年度以降にコミュニティサイクルの本格導入や社会実験を検討

※国土交通省調べ

導入都市の人口規模

※平成27年12月 国土交通省調べ

急速に地方都市に広がっている



富山市自動車市民共同利用システム「アヴィレ」



金沢市公共レンタサイクル「まのり」



札幌市レンタサイクル「ポロクル」



横浜市コミュニティサイクル「baybike」



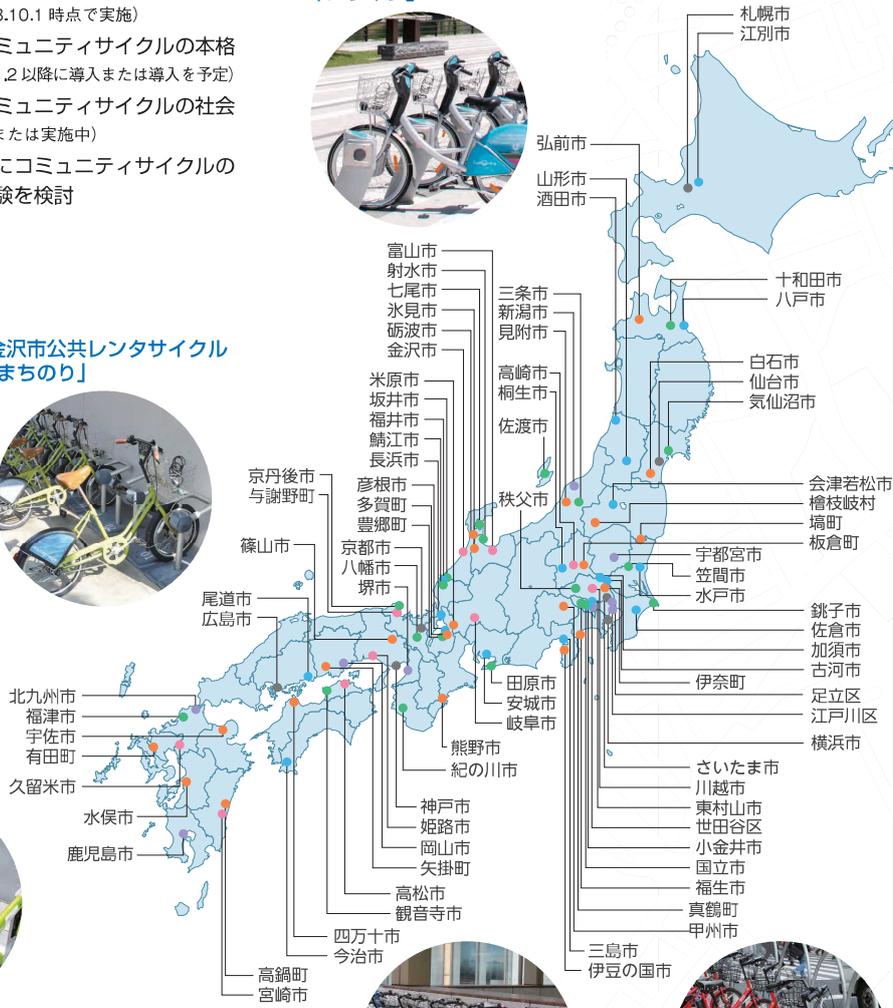
鹿児島市コミュニティサイクル「かごりん」



岡山市コミュニティサイクル「ももちゃり」



神戸市コミュニティサイクル「こうべりんくろ」





システム概要

保険に加入しています
万が一の事故の際もご安心



GPS/準天頂衛星で
位置データ管理
自転車位置をリアルタイム管理



簡易設置型のピーコンで
ポートを仮想管理
電源工事不要
半径 5mの範囲で貸出返却可能



迅速かつ一時的にポート設置可能
電源工事をせずにイベントや災害時など
容易にポート設置可能



ICカード
(おサイフケータイ)対応
交通系ICカードや
おサイフケータイで
ワンタッチ貸出しに対応



電動アシスト付自転車
坂道でも移動が楽々



導入コスト30%以上削減
専用機械ラック不要。
従来ポート型システムから導入コスト削減



利用方法

🚲 借りる

(A) パスコード入力



(B) かざす



操作パネルに4桁のパスコードを入力(A)またはカードをかざす(B)と自転車の鍵が自動で開錠します。

🚲 返す

駐輪



施錠



返却完了



手で鍵をかけ、「操作パネル」の「ENTER」を押し、パネルに「返却」と表示されたら返却完了です。

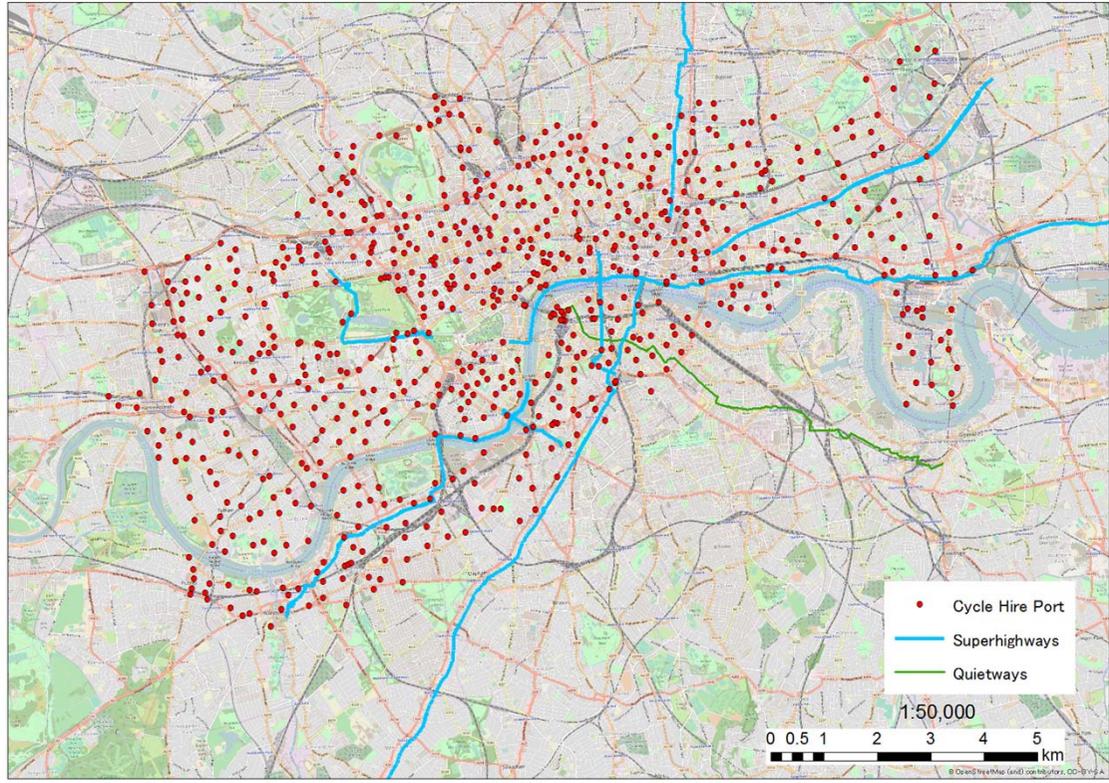
海外のコミュニティサイクル事例

イギリス・ロンドン 「Santander Cycle Hire」

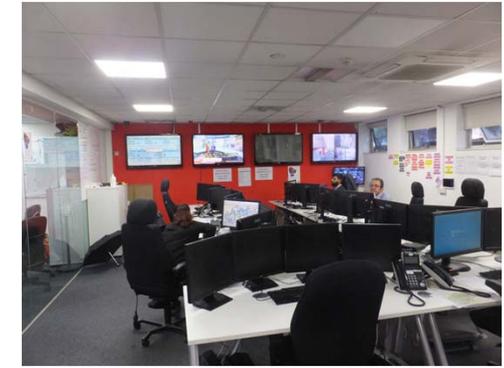
2010年より導入が開始されたロンドンのCycle Hire。
2015年からスポンサーを変更し、現在は「Santander Cycle Hire」として運用中



実施主体	ロンドン市交通局 (TfL)
運営者	Serco社
ポート数	750箇所
自転車台数	11,000台
ポート密度	7.3箇所/km ²
ポートあたり自転車台数	14.7台/箇所
回転率	2.5回/台・日



オペレーション・メンテナンス・再配置



鉄道駅に近接したポート



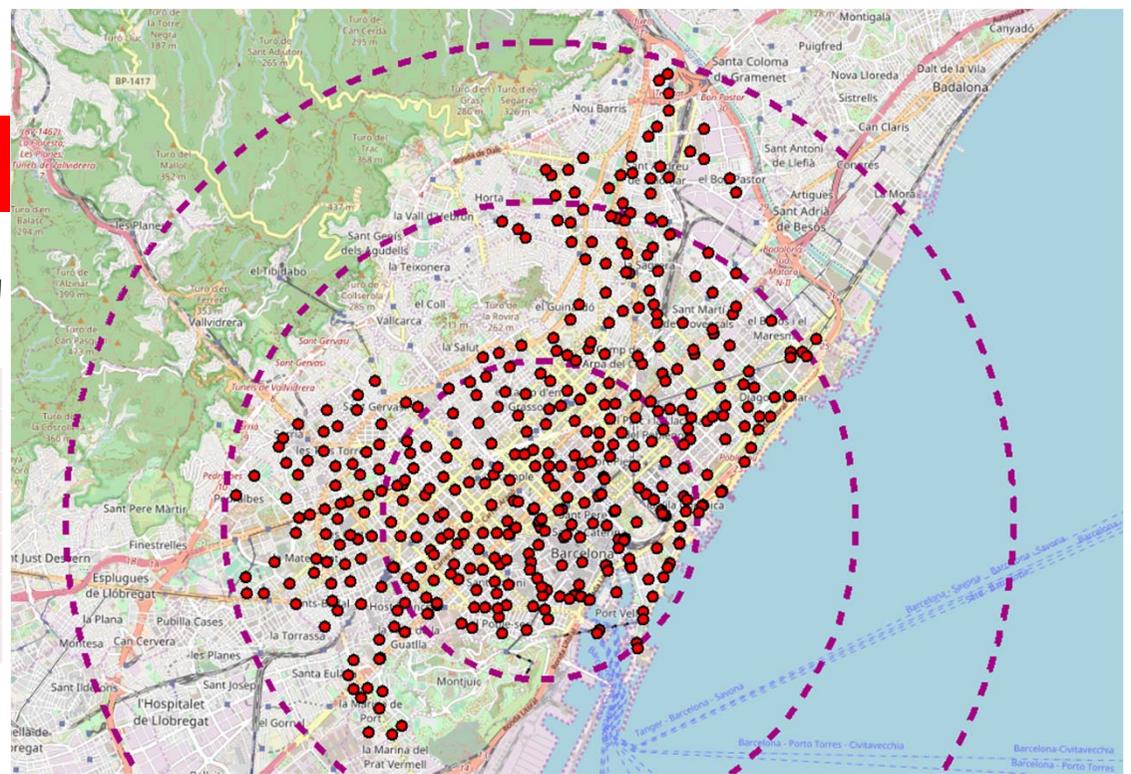
海外のコミュニティサイクル事例

スペイン・バルセロナ 「Bicing」

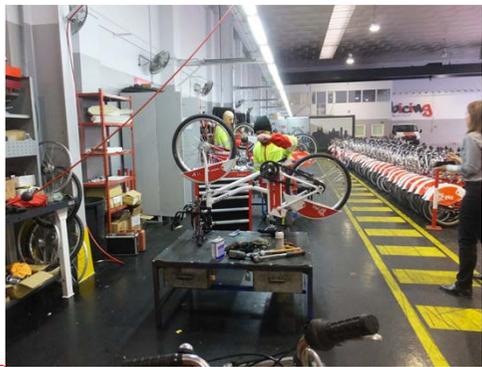
2007年より開始された市民向けのサービス。
 総合交通政策からの位置づけ、再配置の効率化、コスト縮減につながる戦略的
 ポート配置など様々な取り組みが進む事例



実施主体	バルセロナ市
運営者	クリア・チャネル社
ポート数	420箇所
自転車台数	4100台
ポート密度	10.3箇所/km ²
ポートあたり 自転車台数	9.7台/箇所
回転率	10.8回/台・日



オペレーション・メンテナンス・再配置



利用状況



海外のコミュニティサイクル事例

台湾 高雄「CityBIKE」

2009年より導入が開始されたシステム。
地下鉄会社が運営しており、公共交通連携に特徴がある。



実施主体	高雄市
運営者	高雄捷運（高雄メトロ）
ポート数	300箇所
自転車台数	3,200台
ポート密度	4.0箇所/km ²
ポートあたり自転車台数	10.7台/箇所
回転率	4.5~6回/台・日



オペレーション・メンテナンス・再配置



公共交通との連携



駅近くにポートを設置

駅出入口案内にポート位置を表示



交通系ICカードなら乗り継ぎ割引も

ドックレス型バイクシェアリング等の動向

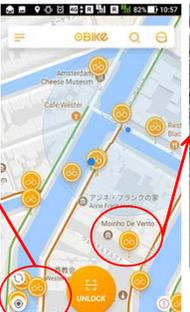
中国を中心に始まったドックレス型バイクシェアリングが世界各地に広がっている。また、ドイツなどでは既存システムのリプレースも

オランダ

複数の企業が進出。街中に多数点在。



アプリで探せるのはとても便利なのですが。。



ドイツ・ベルリン

ポート型で運用していたCall a bikeがドックレス型運用に。既存ポートが撤去され、Nextbikeなども勢力を拡大。



2014年11月 ベルリン アレクサンダー広場

2017年9月



2014年11月 ベルリン北駅

2017年9月



台湾

Obike(シンガポール)やVbike(米国)などが進出。

